

2024年度JKA補助事業(障害者地域拠点施設)について、2回目の自己評価を行ってください。

・提出期限 : 2026年1月30日(金)

・提出先 : p2024hyoka@keirin-autorace.or.jp

《2024年度JKA補助事業 自己評価書(2回目) 記入のしかた・記入例について》

* **青字部分**は記入例です。記入の際、参考にしてください。

* **水色箇所**は記入箇所、**ピンク色の項目**は選択肢の中からひとつを選択していただく項目、**緑色の項目**は複数選択可の選択項目となります。

* 以下の【記入にあたっての注意点】もご一読のうえ、ご記入ください。

2024年度自己評価書(2回目) 様式・記入例 ↓

【記入にあたっての注意点】

整理番号	2024P - 200	補助事業者名	社会福祉法人〇〇〇	補助事業名	障害者地域活動拠点施設
------	-------------	--------	-----------	-------	-------------

2024年度 JKA補助事業 自己評価書(2回目)								
作成年月日	2026	年	1	月	25	日	作成者	競輪 花子

1. JKA補助 建築について(2024年度補助事業で整備された障害者地域活動拠点施設についてご記入ください。)

施設の種類	障害者地域活動拠点施設				
建築施設名	〇〇〇作業所センター		構造	木造平屋建て	
建築施設の所在地	東京都港区港南一丁目2番70号		延べ面積	300.00	m ²
建築した施設の形態 (選択してください)	☐ 法人にとって初の障害者地域活動拠点施設 ☒ 複数棟目の障害者地域活動拠点施設 ☐ 法人にとって初の障害者地域活動拠点施設の老朽化のため建て替え ☐ 複数棟目の障害者地域活動拠点施設の場合 ⇒ 同種の既存施設有無 ☐ 無 ☒ 有 → 2 棟目				
地域活動支援センター 種類	☐ I型 ☒ II型 ☐ III型				
建築した施設の特長	地域活動支援センターのII型の機能に加えて障がい者が働くことができるカフェを併設しています。				

◆整理番号、補助事業者名(法人名)を記入してください。

◆作成日、作成者を記入してください。

◆今回建築した障害者地域活動拠点施設の施設名を記入してください。また、その施設の所在地(住所)も記入してください。

◆「構造」欄には、今回建築した障害者地域活動拠点施設の建物の構造(例: 木造平屋建て 等)を記入してください。
「延床面積」欄には、今回建築した障害者地域活動拠点施設の延べ面積(m²)を記入してください。
(※小数点以下2桁まで。それ以降は四捨五入されます。)

◆① 施設の形態についてあてはまるものをひとつ選択してください。

◆② ①で「複数棟目の障害者地域活動拠点施設」を選択した場合は、今回建築した障害者地域活動拠点施設と同種の障害者地域活動拠点施設を所有している場合は「有」、ない場合は「無」を選択してください。

◆③ ①で「複数棟目の障害者地域活動拠点施設」を選択し、②で「有」を選択した場合、今回建築した障害者地域活動拠点施設がその種の障害者地域活動拠点施設として何棟目になるかを記入してください。

◆今回建築した障害者地域活動拠点施設の特長(地域活動支援センターの機能と障がい者が自ら行う地域活動の内容を記入の上、特に優れている点やアピールポイントなど)を記入してください。

利用開始日		2025	年	3	月	1	日	← ①
	運用月	障害者地域活動拠点施設の 延べ利用者数(人)※1		障害者地域活動拠点施設の 稼働日数※2		1日平均利用者数 (※1÷※2)		
1	2025年 1 月	↑ ②		↑ ③				
2	2025年 2 月							
3	2025年 3 月	196		20		9.8		
4	2025年 4 月	267		22		12.1		
5	2025年 5 月	235		19		12.4		
6	2025年 6 月	284		22		12.9		
7	2025年 7 月	275		21		13.1		
8	2025年 8 月	253		19		13.3		
9	2025年 9 月	261		20		13.1		
10	2025年10 月	316		22		14.4		
11	2025年11 月	292		20		14.6		
12	2025年12 月	271		19		14.3		
計		2,650		204		(月平均) 13.0		

☆店舗を併設している場合は、ご記入ください。

店舗の延べ 来客数(人)※3	店舗営業日数 ※4	1日平均来客数 (※3÷※4)
↑ ④	↑ ⑤	
0	0	(月平均)

- ◆① 今回建築した障害者地域活動拠点施設の利用を開始した日にちを記入してください。
- ◆② 今回建築した障害者地域活動拠点施設を利用した月ごとの**延べ人数**を記入してください。
(例:同一人物がその月に10日間利用した場合、10人とカウントする。)
- ◆③ 今回建築した障害者地域活動拠点施設を稼働させた日数を記入してください。
※1日平均利用者数(延べ利用者数÷稼働日数)については自動計算となりますので入力は不要です。
- ◆④ 今回建築した障害者地域活動拠点施設で障がい者が自ら活動を行う店舗を併設してる場合、その店舗の延べ来客数を記入してください。
(例:同一のお客さんがその月に5回来店した場合、5とカウントする。)
- ◆⑤ 今回建築した障害者地域活動拠点施設で障がい者が自ら活動を行う店舗を併設している場合、その店舗の営業日数を記入してください。
※1日平均来客数(延べ来客数÷営業日数)については自動計算となりますので入力は不要です。

★利用者の障がいの種類と障害者地域活動拠点施設程度区分、年齢区分について教えてください。(複数選択可)

<障害種類>	<障害程度区分>	<年齢区分>
☒ 身体障害	☐ 非該当	☐ 10代
☒ 知的障害	☒ 区分1	☒ 20代
☐ 精神障害	☒ 区分2	☒ 30代
	☒ 区分3	☒ 40代
	☐ 区分4	☒ 50代
	☐ 区分5	☐ 60代以上
	☐ 区分6	

◆複数選択可です。施設の利用者として**あてはまるものすべて**にチェックをしてください。

2. 以下の評価項目について、ご記入ください。

a. 個別の評価項目について、交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書(3/5) 4. 補助事業の事前計画』の、達成状況等を把握し、ご記入ください。

○採点基準については、2024年度補助事業実施に関する事務手続要領『別冊評価要領』自己評価スコアリングガイドをご参照ください。

(1) 受益者 (ニーズ)		施設を新たに建てたことにより、今まで以上に障がい者の方と地域住民の方との交流機会が増え、今後もイベント等を通して交流活動を続けていきます。			採点 4
(2)	事業の 発展性	施設内に障がい者が働けるカフェを併設したことにより、地域社会及び地域住民との交流ができるようになった。また、それにより、当法人の福祉活動や障がい者に対する理解・周知に役立っている。			採点 4
(3)	事業の 成果・波及	達成値	達成状況	具体的内容	採点
※自己評価1回目から変化があった場合にご記入ください	施設利用者数 月平均269名	108%	施設開設当初は月平均利用者が200名程度だったが、現在は若干利用者数も増え、目標に達している。		4

b. 交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書(2/5) 3. 補助事業実施の必要性 (1)補助事業が最終的に目指すこと』の、達成状況をご記入ください。

障がい者の求める多様なニーズに応えるべく、利用者を一面的に1つの集団として捉えることをせず、1人1人の個性に目を向けたことにより、これまで以上に職員と利用者間で良好な人間関係が構築されつつある。これまで当法人の事業内容を知らなかった外部の人達にも当法人や障がいのある人について理解してもらうことができた。定期的に来ていただける方々や施設へのカフェやイベントへ参加してくれる方々も増え、地域連携も進んだ。これから、最終的に目指す姿である障がい者が主体的にかつ、豊かに生きていける地域社会の実現に近づくことができた。

3. 障害者地域活動拠点施設で行っている活動についてご記入ください(障害者地域活動拠点施設の活動内容・活動日、店舗の営業日時、製品や商品の種類、参加人数等、施設整備前の状況及び当初計画と照らし、実際に行っている活動を具体的に記入ください)。

施設:月～金 9:00～16:00 カフェ:月～金 10:00～15:00
創作活動絵手紙、トルペイント、クラフト、日常生活支援茶話会、昼食(おかし)作り、地域との交流地域イベントへの参加
カフェの運営

4. この施設に対する施設利用者及び施設職員の声をご記入ください。

利用者:きれいな建物でうれしい。食堂ができて、ゆっくり給食が食べられるようになった。静かな環境で活動ができるようになった。
職員:食堂と交流スペースが分かれているため、利用者がゆったりと過ごせている。ゆっくりではあるが利用者の一歩ずつ上達していく姿を見ることができてうれしい。カフェ利用者の方も楽しそうで充実した様子。

5. この施設に対する地域の方やお客様の声をご記入ください。

施設利用者の方が頑張ってコーヒーを運んでいる姿や、元気に挨拶してくれる姿に好感もてる。
施設もきれいで使いやすい。施設で行われる行事に参加するのも楽しみ。

6. 利用者の居住範囲についてご記入ください。

市町村	人数	市町村	人数
〇〇〇市	12人	①	人
△△△市	4人		人
	人		人
	人		人

☆施設を中心として 15 km範囲 ②

☆利用者が施設に通うための交通手段をご記入ください。 ③

施設送迎用車両による送迎、自家用車による送迎、徒歩

7. 施設のオープンについて、ホームページ・新聞等に公表した実績を教えてください(自己評価書の「事業成果の公表の方法」により成果を公表したもの、また、それ以外でマスコミ等の取材を受けた実績等があれば、ご記入ください)。

・当法人ホームページ及び当法人発行の機関誌に掲載。
・〇〇新聞(2025年〇月〇日)に掲載。

◆1回目の自己評価の際と同様に、事前計画／自己評価書(3/5)の目標に対し、どれだけ達成できたかを記入してください。
採点欄については、別シートのスコアリングガイドを参照の上、採点してください。

◆(3)達成目標については、1回目の自己評価時から達成状況などに変化があった場合、変化があった後(現在)の状況について記入してください。
!! 注意 !! 達成状況のパーセンテージについては、1回目自己評価時との比較ではなく、事前計画／自己評価書(3/5)記入の内容と比較して算出してください。

◆事前計画／自己評価書(2/5)の「最終的に目指すこと」に対して、現時点での達成状況を記入してください。

◆建築前の状況や当初の計画と現状を照らし合わせ、今回建築した障害者地域活動拠点施設で行っている活動内容などを具体的に記入してください。

◆今回建築した障害者地域活動拠点施設についての感想など、施設利用者及び施設職員の声を記入してください。

◆今回建築した障害者地域活動拠点施設に併設する店舗についての感想など、地域の方やお客様の声を記入してください。

◆① 今回建築した障害者地域活動拠点施設を利用する利用者がどの市町村から何名来ているか記入してください。

◆② 今回建築した障害者地域活動拠点施設を利用する利用者の居住範囲が施設から半径何キロ範囲が記入してください。

◆③ 利用者が今回建築した障害者地域活動拠点施設に通う際の交通手段を記入してください。

◆今回建築した障害者地域活動拠点施設について、新聞や雑誌、テレビやラジオ等メディアで紹介された事例があれば記入してください。特になければ「特になし」と記入してください。

8. この施設について客観的な立場から論評できる人(法人の監事、行政の福祉担当者、大学の先生などの有識者等)のコメントを自由にご記入ください(できるだけ2名以上、論評者及びコメントを記載してください)。

障がい者が交流する場所が地域になかったが、今回の開設により新しい受け入れ先となっており、また、地域に開かれた福祉の拠点として大きな役割を果たしている。施設を訪問した際、落ち着いた心地よい雰囲気を感じられ、この雰囲気、空間であれば利用者の方々が安心して働いたり過ごすことができると感じた。(当法人監事)

◆施設の職員等ではなく、法人の監事や行政の福祉担当者、大学の先生などの有識者等のコメントを記入してください。

9. 障害者地域活動拠点施設を運営するにあたり、施設独自の課題があればご記入ください。

今まで以上に利用者の方々の様々な特性に応えることができる体制を整えることも必要となってくるが、資金面での課題も多い。

◆今回建築した障害者地域活動拠点施設の運用についての課題があれば記入してください。

10. 障害者地域活動拠点施設を取り巻く状況や課題をお聞かせください。

全国的にみると数が少ない地域などは障がい者の方の交流の機会が限られてしまう。そのため地域住民の方との交流についてはとてもいい機会になっている。

◆障害者地域活動拠点施設の現状や課題、また、福祉・介護業界等での問題点や課題等を記入してください。
なお、国の施策、それに対する影響等がありましたら併せて記入してください。

11. 他に障害者地域活動拠点施設をお持ちの場合、その障害者地域活動拠点施設の活動内容についてご記入ください。

今回建築した地域活動支援センター以外に、カフェがあり、障害者のかたに就労体験を実施していただいている。

◆今回建築した障害者地域活動拠点施設以外にも障害者地域活動拠点施設を所有している場合、その障害者地域活動拠点施設の活動内容を記入してください。

12. その他、施設に関する特記事項、上記1～12についての補足やJKAに対するご要望等ございましたらご自由にご記入ください。

◆この自己評価の補足や、JKAに対する要望等を記入してください。

以上となります。 ご協力ありがとうございました。

p2024hyoka@keirin-autorace.or.jp までご送信ください。

【建築(障害者活動拠点施設)】